

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	学校名 千葉県立桜が丘特別支援学校 対象 全児童生徒 人数 169名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育・特別活動) ② 行事名 (校外学習・千葉県特別支援学校中学部スポーツ大会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ、生涯スポーツを通して目標に向かって仲間と共に努力することやスポーツや身体を動かすことへの親しみや楽しさを感じながら興味関心を高める。 ・スポーツを通じて、地域や他校との交流の中で互いに支え合い、互いを尊重し合える心の育成につなげる。
5 取組内容	<p>○千葉県特別支援学校体育連盟主催の中学部スポーツ大会(Tスローの部)・高等部ポッチャ大会に出場する取組とした。</p> <p><事前> 大会に向けて、主に特別活動(学年集会)や体育の時間を利用し、練習を行った。中学部では、主にC課程の生徒の参加で、一人一人の投球方法やランプ(傾斜台)の位置や角度、職員の支援のタイミングなど生徒とやりとりしたり、職員間で確認したりしながらひとつひとつ丁寧に進めた。高等部では、A・B・C課程混合のチーム編成。生徒同士で声をかけ合ったり、話し合ったり考えたり、生徒と職員とでひとつひとつ確認したりしながら進めた。また、課程によって日課が異なるため、合同での練習と個別での練習とを行った。</p> <p><当日> ①千葉県特別支援学校高等部ポッチャ大会 高等部3年生全員でチームを組み、優勝を目指して臨んだ大会。結果は、優勝と第3位。それぞれのチームが練習の成果を発揮することができた。嬉しい気持ち、悔しい気持ち、充実感、達成感などそれぞれが感じ、チーム、そして学年の絆がより深まる大会となった。</p>



②千葉県特別支援学校中学部スポーツ大会 Tスローの部

中学部1年生がチームを組み出場。大会までに練習してきた成果を発揮し、大会当日は見事優勝を果たした。大会という会場の雰囲気を感じたり、他校との交流の機会となったりした。そして練習の成果を大会という大きな場で発揮することができた貴重な体験につながる取り組みとなった。



<事後>

大会出場後、大会当日の様子や感想などについて振り返る時間を設定した。また、学校間交流の中でもより実態に応じたルールに工夫しながらTスローやボッチャを活動の中に取り入れている。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大会への出場をきっかけに、多くの生徒が競技や大会を通して、興味・関心や仲間との交流が広がる機会をなつた。 ・様々な実態の生徒が在籍する中でも、事前の準備から当日の細かな配慮により、学校だけでなく校外での活動経験につなげることができた。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より生徒の力が発揮できるように、補助具の位置や角度、支援のタイミングなど細かな調整を行いながら取り組んだ。 ・生徒同士でのかかわりを多くとれるように、チーム編成や練習の中での時間の使い方、言葉のかけ方への配慮を行った。 ・大会当日に向けて、様々な実態の生徒(医療的ケアの生徒も含めて)が安心して、安全に参加できるように、事前の計画から当日の細かな動き、支援体制の綿密な計画、調整、確認を行った。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大会参加に当たっては、多くの職員を必要とするため、学校内での協力体制が欠かせない。 ・今後も生徒の実態の幅が広いことが予想される。安全に安心して参加するためには、競技だけでなく、職員間での生活面での配慮についての細かな確認、調整が欠かせない。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度と同様、大会への積極的な参加を計画していく。